



岩手労働局発表  
令和3年6月29日

【照会先】  
岩手労働局労働基準部健康安全課  
課長 八重樫 祐一  
課長補佐 漣 磯 寿  
(電話) 019-604-3007

## 職場における熱中症にご注意を！

～7月は「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間です～

熱中症の発生を防止するため、厚生労働省では「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を5月から展開しています。

これからの時期は、県内においても気温や湿度が高い中で働く機会が多くなり、例年、事業場で多くの熱中症の被災者が発生しています。

令和2年の発生状況をみると、前年の147件より7件減少しましたが、平成30年以降高水準で発生しています。(別添1参照)

また、平成6年から平成28年の間に熱中症で亡くなった8人のうち、6人が7月～8月に発生しています。(別添3参照)

このため、厚生労働省では、熱中症が増加する7月を重点取組期間とし、以下の事項を実施するように事業場に対して指導・啓発を行っているところです。(別添4参照)

各事業場においては、これらの事項への積極的な取組により、労働者の熱中症予防対策を徹底していただくようお願いします。

なお、厚生労働省では、職場における熱中症予防に関するポータルサイトを開設し、熱中症の症状や予防対策について具体的な事例を交えて紹介していますので、熱中症予防対策の徹底を図るため、是非ご活用ください。(別添5参照)

### 熱中症予防対策として実施すべき主な事項

- ① JIS規格に適合した暑さ指数(WBGT指数)測定器を準備し、暑さ指数を把握しましょう。WBGT値が高いときは、単独作業を控え、作業時間を短縮し、こまめな休憩をとるなど、身体への負担の軽減対策をとりましょう。  
また、実施した各種の低減措置の効果を改めて確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。

- ② 特に梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。また、休憩場所には氷、冷たいおしぼり、飲料水、塩飴等を設置しましょう。
  - ③ 休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。(あらかじめ活動前に体温を低下させるプレクーリングの実施など。)
  - ④ 水分、塩分を積極的にとりましょう。(のどが渴いていなくても定期的に水分・塩分を取ることが重要です。)
  - ⑤ 睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、朝食をきちんととりましょう。
  - ⑥ 熱中症のリスクについて、重点的に教育を行いましょう。(職場における熱中症予防に関するポータルサイト(別添5参照)をご活用ください。)
  - ⑦ 少しでも異常を感じたら、いったん作業を離れ、涼しい場所へ移動して、脇の下、太ももの付け根、首の周りなどを冷やしましょう。(誰かが付き添い、決して一人きりにしないようにしましょう。)
- 意識がはっきりしないなどの異常を認めたら、ためらうことなく、すぐに救急車を呼びましょう。

#### 参考：県内の熱中症の発生状況のポイント

##### 1 令和2年の発生状況(別添1参照)

###### ア 月別発生状況

7月から9月までに全発生件数の90%が発生しています。

###### イ 時間帯別発生状況

午前11時台に多く発生しています。

###### ウ 業種別発生状況

建設業が52%を占めています。

###### エ 場所別発生状況

屋外が全体の65%を占めていますが、製造業では73%が屋内で発生しています。

###### オ 年代別発生状況

20代が最も多く、30代、50代、40代、60代と続いています。

###### カ 休業日数別発生状況

休業0日が84%で、休業4日以上は4%となっています。

##### 2 平成25年～令和2年の熱中症発生状況(別添2参照)

###### ア 年別発生状況

平成25年～平成29年は、41件から125件の間で増減していましたが、平成30年は急激に発生件数が増加し、246件を記録しました。令和元年、2年は平成30年より減少しているものの、平成29年以前と比較すると、高い水準にあります。

###### イ 月別発生状況

7月～8月に全発生件数の84%が発生しています。

ウ 時間帯別発生状況

午前11時台と午後2時～3時台に多く発生しています。

エ 業種別発生状況

建設業が半数以上の56%を占め、次いで製造業が14%となっています。

オ 場所別発生状況

屋外が全体の74%を占めていますが、製造業などでは、高温な屋内の作業場などにおいて多く発生しています。

カ 年代別発生状況

20代が最も多く、次いで50代、30代、40代、60代と続いています。

キ 休業日数別発生状況

休業0日が71%となっており、重篤な容態となるケースは少ないですが、死亡を含む休業4日以上が7%となっています。

### 3 死亡災害発生状況（平成6年～平成28年）（別添3参照）

ア 年別発生状況

平成6年から28年までの23年間で、8人の労働者が熱中症を原因として亡くなっており、平成22年以降の7年間だけでも5人が亡くなっています。

イ 月別発生状況

発生月は、7月が4人で半数を占め、次いで8月の2人となっています。平成13年の事例のように、5月に亡くなったケースもあります。

ウ 業種別発生状況

「建設業」が4人で半数を占め、次いで「商業」の2人となっています。

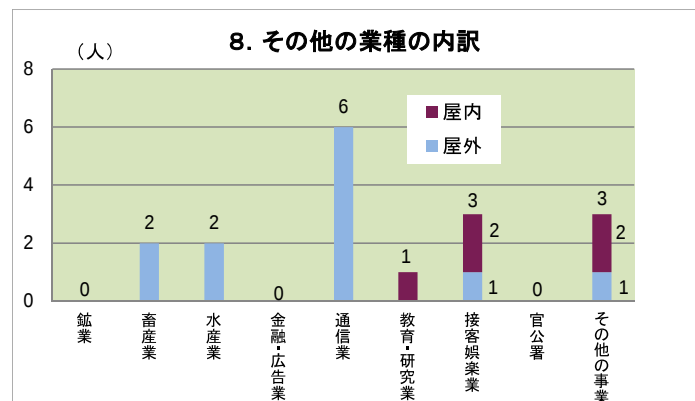
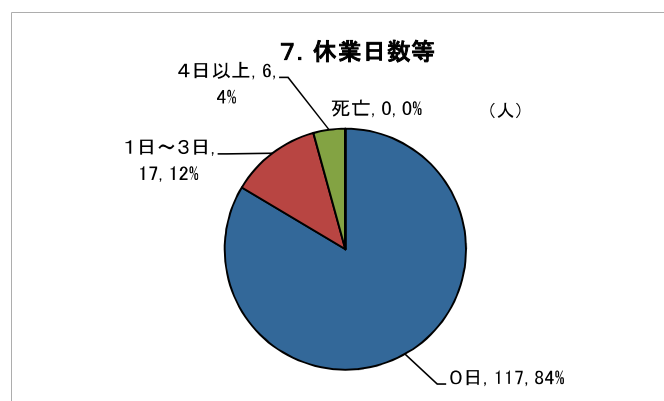
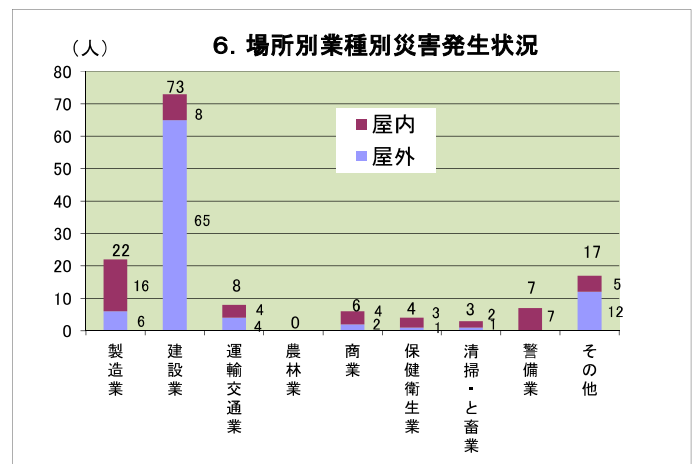
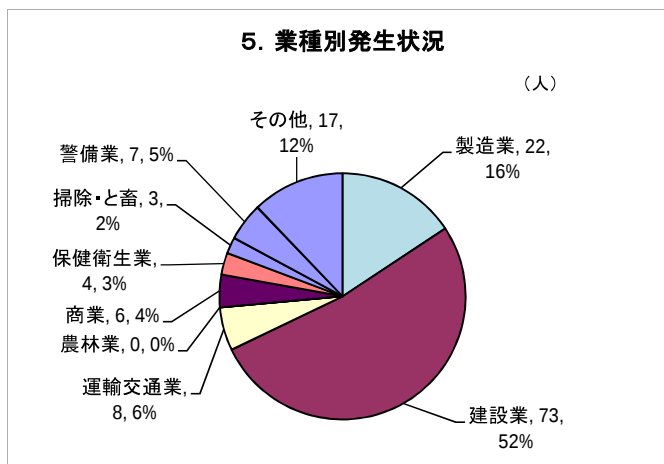
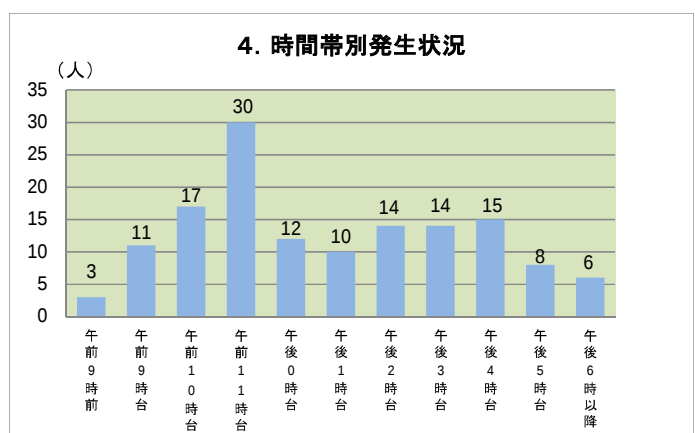
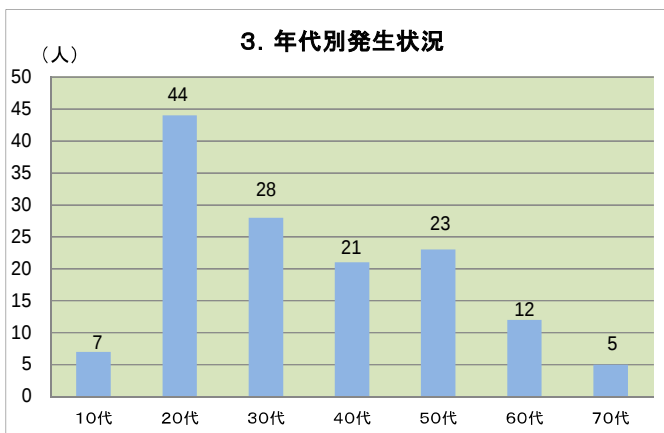
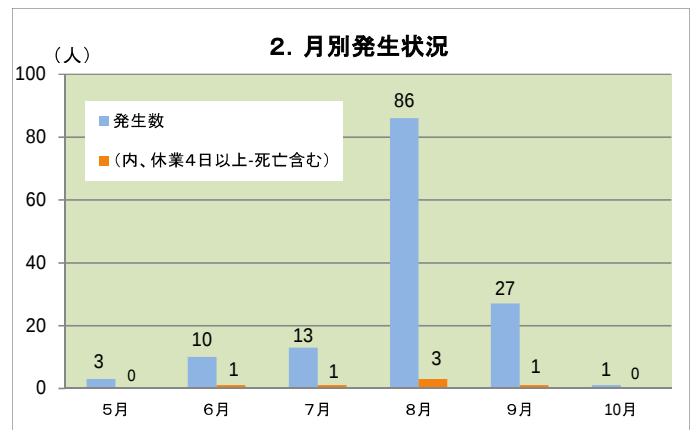
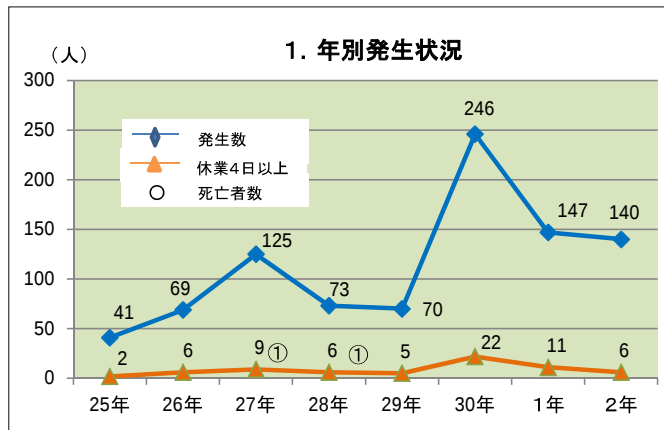
エ 場所別発生状況

屋外での作業で多く発生しています。

オ 年代別発生状況

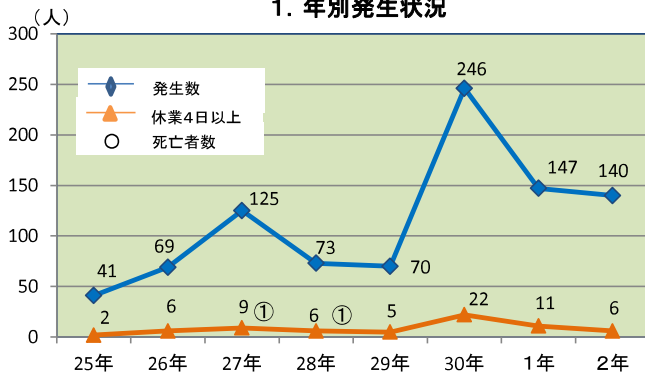
20代、30代、50代、60代が2人ずつとなっています。

## 岩手県内の職場における熱中症の発生状況(令和2年)

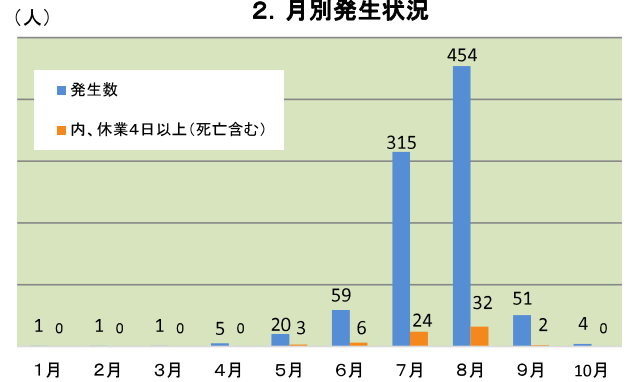


# 岩手県内の職場における熱中症の発生状況（平成25年～令和2年）

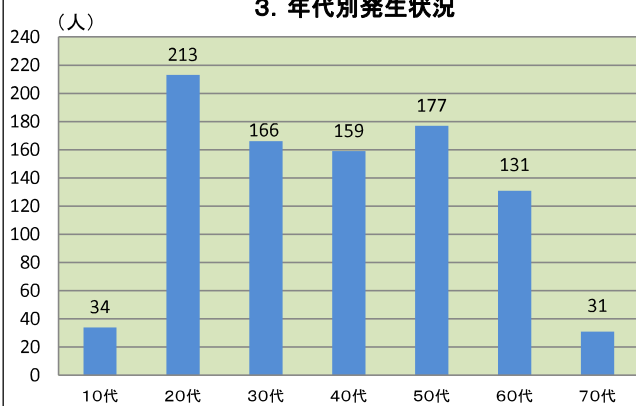
1. 年別発生状況



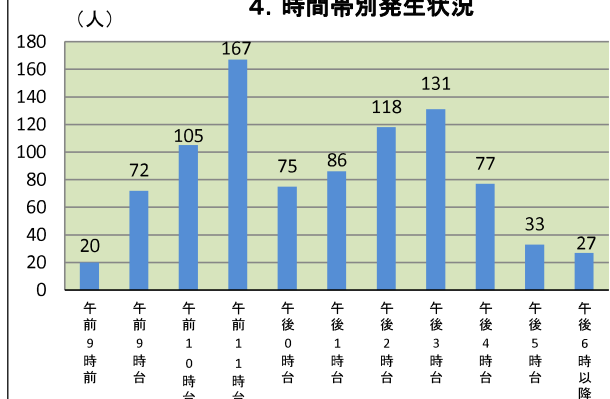
2. 月別発生状況



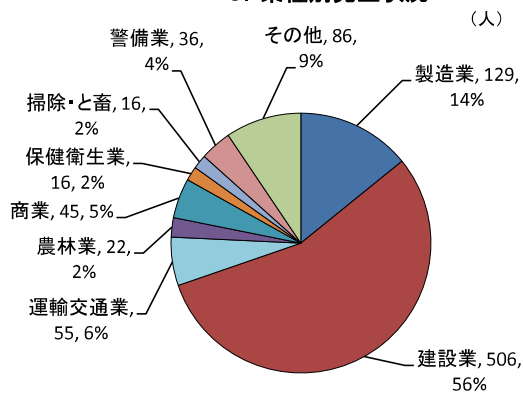
3. 年代別発生状況



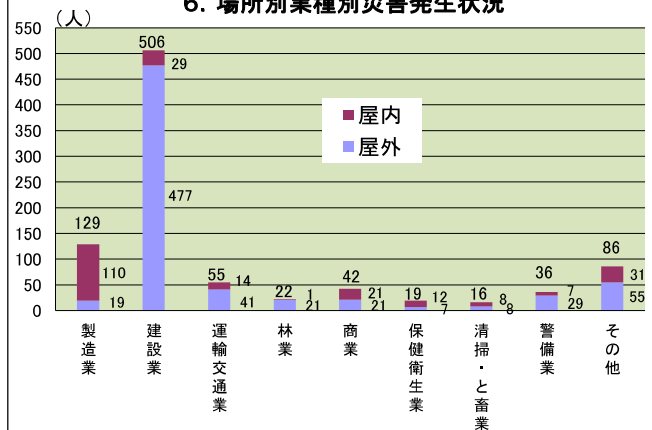
4. 時間帯別発生状況



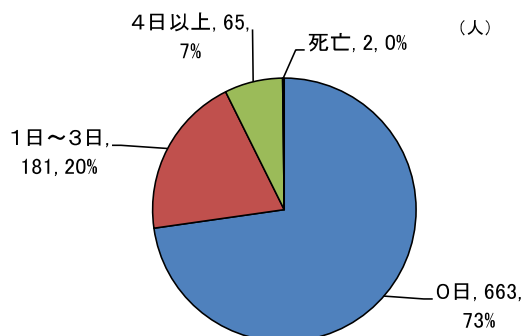
5. 業種別発生状況



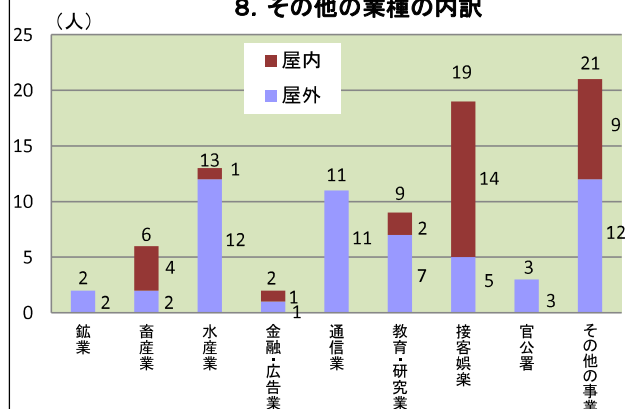
6. 場所別業種別災害発生状況



7. 休業日数等



8. その他の業種の内訳



# 熱中症による死亡災害発生状況（平成6年～平成28年）（令和3年5月31日現在）

岩手労働局

| 番号 | 署別 | 業種                           | 発生日         | 性別 | 年代  | 災害発生の概要                                                                                                                                   | 発注者 |
|----|----|------------------------------|-------------|----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1  | 盛岡 | 建設業<br>(鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業) | 平成6年<br>8月  | 男  | 60代 | 炎天下でマンション工事のスラブ鉄筋配筋作業中、日射病となり治療を受けていたが、12日後に死亡した。                                                                                         | 民間  |
| 2  | 一関 | 林業                           | 平成11年<br>7月 | 男  | 20代 | 下刈り作業中、昼時間になっても休憩場所に戻らないので作業場所に昇り、意識混濁で発見され、病院へ搬送したが、同日死亡した。<br>(推定原因：熱中症)                                                                |     |
| 3  | 盛岡 | 建設業<br>(その他の建設業)             | 平成13年<br>5月 | 男  | 60代 | 送電線に近接する支障木の伐木を行っていたところ、熱射病により死亡した。                                                                                                       | 民間  |
| 4  | 二戸 | 建設業<br>(その他の土木工事業)           | 平成22年<br>7月 | 男  | 50代 | 橋脚の修繕工事現場において、休憩時間となり休憩場に行く際に、被災者が余った材料を抱えて階段を降りていたところからついていたため、休憩場に寝かせて体を冷やす等の措置を行っていたが、その後、被災者が道路の方へ歩き道路上に倒れたことから、救急車で搬送したが、熱中症により死亡した。 | 民間  |
| 5  | 宮古 | 商業                           | 平成22年<br>7月 | 男  | 50代 | 故障したトラックの修理のため走行後のエンジンの上に跨った状態の高温下で故障箇所のアーク溶接を行い、作業を終えて事務所に戻り自分の席に座ったところ、急に呼吸を乱して意識を失い病院に搬送されたが熱中症により死亡した。                                |     |
| 6  | 一関 | 建設業<br>(木造家屋建築工事業)           | 平成24年<br>7月 | 男  | 30代 | 家屋の基礎の型枠加工組立て作業において、休憩中の被災者がふらついていたため現場内で休ませていたところ、被災者の呂律が回らなくなり痙攣し始めたため、救急車で病院に搬送したが、翌日に死亡した。                                            | 民間  |
| 7  | 宮古 | 接客娯楽業                        | 平成27年<br>6月 | 男  | 30代 | 海外研修中、40度以上の高温環境下で熱中症により死亡した。                                                                                                             |     |
| 8  | 花巻 | 商業                           | 平成28年<br>8月 | 男  | 20代 | 屋外の展示場における洗車・清掃等の作業中に頭痛を発症し、帰宅後、就寝したが、死亡した状態で翌朝発見され、死因は熱中症とされたもの。                                                                         |     |

# STOP！熱中症 クールワークキャンペーン

令和3年5月～9月

## — 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

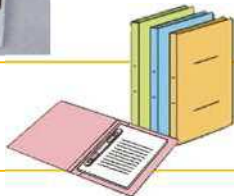
職場における熱中症により、毎年約**20人**が亡くなり、約**1,000人**が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう！

**事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。**

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



**確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう！**

| 準備期間（4月1日～4月30日）         |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | WBGT値の把握の準備     | JIS規格「JIS B 7922」に適合した <b>WBGT指数計</b> を準備しましょう。                                                                                                                                                                      |
| <input type="checkbox"/> | 作業計画の策定など       | WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう <b>余裕を持った作業計画</b> をたてましょう。                                                                                                                                                           |
| <input type="checkbox"/> | 設備対策・休憩場所の確保の検討 | 簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、 <b>WBGT値を下げる方法</b> を検討しましょう。また、作業場所の近くに <b>冷房</b> を備えた休憩場所や <b>日陰</b> などの涼しい休憩場所を確保しましょう。   |
| <input type="checkbox"/> | 服装などの検討         | <b>通気性の良い作業着</b> を準備しておきましょう。 <b>身体を冷却する機能をもつ服</b> の着用も検討しましょう。                                                                                                                                                      |
| <input type="checkbox"/> | 教育研修の実施         | 熱中症の防止対策について、 <b>教育</b> を行いましょう。  <p>迷わず救急車を呼びましょう！</p>                                                                                                                                                              |
| <input type="checkbox"/> | 労働衛生管理体制の確立     | <b>衛生管理者</b> などを中心に、事業場としての <b>管理体制</b> を整え、必要なら <b>熱中症予防管理者の選任</b> も行いましょう。                                                                                                                                                                                                                              |
| <input type="checkbox"/> | 緊急時の措置の確認       | 体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。                                                                                                                                                                                |

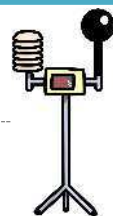
【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

## キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP  
1

### □ WBGT値の把握

JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP  
2

### 準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

|                          |                   |                                                                                                      |                                                                                       |
|--------------------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | WBGT値を下げるための設備の設置 | 準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。                                                                            |    |
| <input type="checkbox"/> | 休憩場所の整備           | 休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。                                                              |    |
| <input type="checkbox"/> | 通気性の良い服装など        | 準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。                                                                         |    |
| <input type="checkbox"/> | 作業時間の短縮           | WBGT値が高いときは、 <b>単独作業を控え</b> 、WBGT値に応じて <b>作業の中止</b> 、 <b>こまめに休憩をとる</b> などの工夫をしましょう。                  |                                                                                       |
| <input type="checkbox"/> | 熱への順化             | 暑さに慣れるまでの間は <b>十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らし</b> ましょう。特に、 <b>入職直後</b> や <b>夏季休暇明け</b> の方は注意が必要です！       |    |
| <input type="checkbox"/> | 水分・塩分の摂取          | のどが渴いていなくても <b>定期的に水分・塩分</b> を取りましょう。                                                                |                                                                                       |
| <input type="checkbox"/> | プレクーリング           | 休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。                                                                                |                                                                                       |
| <input type="checkbox"/> | 健康診断結果に基づく措置      | <b>①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢</b> などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。 |   |
| <input type="checkbox"/> | 日常の健康管理など         | 前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。             |  |
| <input type="checkbox"/> | 労働者の健康状態の確認       | 作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。                                                                |  |

STEP  
3

### 熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- ☐ WBGT値の低減対策は実施されているか
- ☐ 各労働者が暑さに慣れているか
- ☐ 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- ☐ 各労働者の体調は問題ないか
- ☐ 作業の中止や中断をさせなくてよい

#### □ 異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・ **いったん作業を離れる**
- ・ **病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ**
- ・ **病院へ運ぶまでは一人きりにしない**

## 重点取組期間（7月1日～7月31日）

- ☐ 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- ☐ 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- ☐ **水分、塩分を積極的に取りましょう。**
- ☐ 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- ☐ 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- ☐ **少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう。**



# 職場における熱中症予防対策 ポータルサイト及び講習動画のご案内

## ポータルサイトのご案内

厚生労働省では、職場における熱中症予防に関するポータルサイトを開設し、職場で起こる熱中症について、症状や分類、予防対策について、具体的な事例を交えて紹介しています。

場所を問わずアクセスして学べる、熱中症予防のためのオンライン教育用動画や理解度クイズなども掲載しています！

暑い夏を乗り切るにあたり、熱中症予防対策の徹底を図るために、是非ご活用ください！



学ぼう！ 備えよう！ 職場の仲間を守ろう！  
**職場における熱中症予防情報**  
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



## 講習動画のご案内

**無料**

職場における熱中症対策を効果的に推進するための講習動画を無料で配信しています！  
1 動画あたりの閲覧所要時間が15分程度なので、すきま時間にもご覧いただけます。

- 熱中症が発生する原理と発生時の措置
- 熱中症予防対策として有効な対策（管理者向け）
- 熱中症予防対策として有効な対策（作業員向け）
- WBGT指数計を用いた作業環境管理方法について

WBGT値、確認ヨシ！



## 講師紹介

齊藤 宏之

独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所



# ポータルサイトではこんな内容が学べます！

Q1 熱中症防止の目的で使う測定器として、もっとも適当なものはどれでしょうか？

- a デジタル式の温湿度計
- b 黒球の付いたWBGT指数計
- c 黒球の付いていない温湿度計
- d 黒球の付いていないWBGT指数計

Q2 暑熱作業中の水分・塩分摂取の方法として、適当なものはどれでしょうか？

- a 水分・塩分を喉の渇きの有無によらず、定期的に摂取させる
- b 水分・塩分は作業者本人が喉の渇きに応じて摂取する
- c あまり水を飲むと体がなまってしまうので、飲む量や回数は最小限にする

Q3 軽度の熱中症が疑われる作業員がいたため、水分・塩分をとらせ、涼しい部屋で休ませましたが、なかなか良くなりません。  
このような場合、適切な対応はどれでしょうか？

- a 躊躇なく医療機関に搬送する
- b 急がせず、日陰をゆっくり歩いて病院に行かせる
- c タクシーで自宅に帰らせる
- d 軽度の熱中症なので引き続き様子を見る

詳しい解説はポータルサイトに掲載しています！是非ご覧下さい！

渴く前に飲む！



チューイカン吉

【受託実施】 テクノヒル株式会社 化学物質管理部門（職場における熱中症予防対策事務局）  
東京都中央区日本橋蛸殻町2-5-3 サンホリベビル4F  
お問い合わせは、下記メールアドレス宛にお願いいたします。  
e-mail: netsu@technohill.co.jp